



日刊 重労千葉

國鐵千葉動力車勞働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番
 { (公) 043(222)7207 番
96.11.18 No. 4501

12月ダイ改阻止！組織破壊攻撃粉碎！JR総連解体・一掃！

11・27 総決起集会に結集を 勤労千葉 総決起集会に結集を

十一月一三日～一四日の両日、
勤労千葉業務員分科会は、笠森
保養センターにおいて、第一九
回定期委員会を開催し、恒常的
スト体制を背景として勝利をか
ちとった夏季輸送闘争を中心と
したこの一年間の闘いを総括す
るとともに、労務政策を優先す
るあまり業務遂行能力がなくな
つてしまつた千葉支社に対して
恒常的スト体制をさらに強化し
職場からの闘いを展開する方針
を決定した。

「局を確実に追い詰めている。奮われた労働条件を取り戻す闘いも二年目に入ろうとしており、勤務制度そのものを変えていくためにさらに粘り強く闘いぬく」 と訴えた。

一般経過報告、会計報告、共済関係報告、会計監査報告、九六年度運動方針案、予算案を一括で提起した後、質疑応答に入つた。

R総連革マル一体となつて行なわれる状況もあり、一二月ダイ改阻止闘争は重要な局面となつてゐる。

勤労千葉は、こうした状況に對し、十一月二七日、一二月ダイ改阻止ーJR総連革マル解体・一掃に向け総決起集会を開催する。全支部から全力で千葉市文化センターに結集しよう。

乗務員分科会が恒常的

スト体制の先頭に

改阻止闘争も山場を迎えている。しかし、一方では、ダイ改を利
用した組織破壊攻撃がJR—J
R総連革マル一体となつて行な
われる状況もあり、一二月ダイ
改阻止闘争は重要な局面となつ

一二月ダイ改をめぐつては、一五日から千葉支社との交渉も本格的に始まり、いよいよダイ改阻止闘争も山場を迎えている。しかし、一方では、ダイ改を利用了した組織破壊攻撃がJR—J

一二月ダイ改をめぐつては、
一五日から千葉支社との交渉も
本格的に始まり、いよいよダイ

11月27日(水)18時から
千葉市文化センター室

西田をじおして、多く
の意見が出される

- 九月の台風一七号により内房線で被害が出たが、今だに危険箇所が多数ある。今後の対応をどうするのか（館山）
- 今次ダイ改で二一七系を扱うようになるが、制限標識の統一がひつようではないか（同）
- 快速が一二月から入るようになるが、二一七系の出区点検では電車を見るだけでハンドル訓練も行なっていない（津田沼）
- ハンドル訓練に必要な回数を離れていた年数ごとににつきりさせたほうがいいのではないか（千葉転）
- JR総連は九月頃にダイ改の内容を把握しており、同じ線路を運転するのに全く不公正だ。こうした不公正は絶対に解消しなければならない（鴨川）
- 東浪見—長者町間の複線化とともに線見の基準はどうなっているのか（千葉転）
- 二一七系の分割・併合は、検査のいるところで行なうように手配できないか（同）
- 食事時間について、運用入出区が多くて食事時間がなくなるところがあり、車内での食事を取る場合がある（銚子）
- 新金線では今だに無線が通じない。輸送混乱の時などは一番最後になり、蘇我到着が遅れる（新小岩）
- 京葉線で信号機故障が発生した時など、快速を各駅停車扱いにするなど、輸送が乱れたときの対応を司令が理解していないのではないか（京葉）
- 船橋—浅草橋間で、無線が半日以上通じなかつたことがあつた。（津田沼）

| 役職 | 会長 | 副会長 | 事務長 | 役員 | 同 | 同 | 同 | 同 |
|----|----|-----|------|------|----|----|----|------|
| 氏名 | 充 | 檜垣 | 冬木浩明 | 橋本英治 | 博 | 嘉郎 | 加藤 | 吉田英樹 |
| 年令 | 五一 | 三六 | 四五 | 四五 | 四二 | 四一 | 三八 | チヨ |
| チヨ | チテ | シワ | タテ | ケヨ | チヨ | チヨ | チヨ | チヨ |

議長解任後、一二月夕イ改阻止、貨物六千人体制粉碎、組織破壊攻撃粉碎、JR総運革マル解体・一掃へ力強く團結ガンバローー三唱を行い、第一九回定期

二日間をとおした質疑応答に
対して本部側からの答弁が行な
われた後、経過報告、決算、九
五年度運動方針案、予算案につ
いて一括で採択され、満場の拍
手で闘う方針が確認された。

恒常的スト体制で
リマネーク解本ノー

●館山駅、興津駅で特急列車が交換するときに電圧が下がり、力行できない場合がある（京葉）

●台風の時など、遠距離通勤者について管理者の指示がまつたくなつていなかつた（木更津）
（留里泉がは列車無泉がない）